

Port of Hachinohe

No. **22**
Jul 2007

---Maritime & Trade Report---

●今号の主な記事

- 八戸港国際物流拠点化推進協議会 平成19年度定例総会開催
- 平成19年度セミナーのご案内
- 天津市塘沽区一行来八
- 「中国大連ジャパンウィーク」参加
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 八戸港の物流を支える人々

八戸港国際物流拠点化推進協議会

平成19年度定例総会開催



協議会会長（八戸市長）あいさつ

八戸港国際物流拠点化推進協議会は、4月25日、八戸パークホテルで平成19年度定例総会を開催しました。

八戸港のコンテナ取扱量は、昨年33,904TEUと過去最高を記録し、順調に推移していますが、東北各港湾間での競争は厳しさを増しています。

そうした状況の中で、八戸港が国際物流拠点港として益々発展していくことを目指し、今年度の事業計画を決定しました。

主な事業計画は以下のとおりです。

◆海外ポートセールス

- ・台湾へのミッション団の派遣

◆国内ポートセールス（詳細2ページ）

- ・首都圏におけるポートセミナーの開催
- ・北東北におけるポートセミナーの開催

◆各種補助金制度（詳細3ページ）

- ・コンテナ輸送トライアル補助金
- ・青果物等貿易促進補助金

この他にも、荷主の皆様への訪問や、本情報誌・ホームページによる情報提供等を行い、八戸港への利用拡大と貿易の促進を目指して参ります。



審議の様子

平成19年度セミナーのご案内

○ 首都圏開催

八戸セミナー2007 ～産業都市「はちのへ」の魅力とポテンシャル～

日時：平成19年7月25日（水）15：00～19：00

場所：経団連会館 東京都千代田区大手町1-9-4 TEL.03-5204-1500

次第：◆セミナー 経団連ホール（14階）15：00～17：00

- (1) あいさつ及び八戸市の紹介 八戸市長 小林 眞（環境・エネルギーへの取組み、工業団地等のご紹介）
- (2) 八戸港の紹介 青森県県土整備部 港湾空港課（施設概要と各種サービス等のご紹介）
- (3) 講演 演題：「北東北の可能性と八戸の地域産業」

講師：一橋大学大学院 商学研究科 教授 関 満博 氏

講師プロフィール：1948年富山県小矢部市生まれ。東京情報大学、専修大学商学部助教授を歴任。2000年より現職。専攻は地域産業開発論。ラジオNHK第一放送「ビジネス展望」に出演

- (4) 質疑応答

◆情報交換会（立食）ダイヤモンドルーム（12階）17：00～18：30

主催：八戸市・八戸港国際物流拠点化推進協議会・八戸市企業誘致促進協議会
後援：青森県・日本政策投資銀行・日本貿易振興機構（ジェトロ）・八戸商工会議所・
中小企業基盤整備機構東北支部・青森県企業誘致推進協議会

○ 北東北開催

八戸港セミナー in 弘前

日時：平成19年8月28日（火）
15：30～18：30

場所：弘前プラザホテル 弘前市代官町101-1
TEL.0172-35-0345

次第：◆セミナー
2階「チェルシー」
15：30～17：00

- あいさつ
- 八戸港の紹介
- 講演
- 質疑応答

◆情報交換会（立食）
同会場
17：00～18：30

八戸港セミナー in 青森

日時：平成19年8月29日（水）
11：00～13：30

場所：青森国際ホテル 青森市新町1-6-8
TEL.017-722-4321

次第：◆セミナー
2階「春秋の間」
11：00～12：30

- あいさつ
- 八戸港の紹介
- 講演
- 質疑応答

◆情報交換会（立食）
3階「孔雀の間」
12：30～13：30

主催：八戸港国際物流拠点化推進協議会
後援（予定）：日本貿易振興機構（ジェトロ） 青森貿易情報センター・日本政策投資銀行青森事務所

※ セミナーは参加無料です。どなたでも参加できますので、お気軽にお申し込みください。

※ セミナーの詳細は決定次第、八戸港国際物流拠点化推進協議会ホームページに掲載します。<http://www.hi-net.ne.jp/hppc/>

お申込み・お問い合わせ先：八戸市産業振興部産業政策課内 八戸港国際物流拠点化推進協議会

TEL.0178-43-2111（内線308・609） FAX.0178-47-5687 e-mail:hppc@hi-net.ne.jp

天津市塘沽区一行来八

5月17日、中国の天津市塘沽区から人民政府建設管理委員会の姚景春（よう けいしゅん）主任ら5名が来八されました。

八戸市と天津市塘沽区は、2003年から経済交流を進めており、昨年は八戸港国際物流拠点化推進協議会が、市長を団長とするミッション団を天津市に派遣しました。

ミッションでは、天津新港視察、経済事情等調査と併せ、八戸市並びに天津市と20年以上にわたって交流を続けている三八五グループが、両地域の末永い交流を願って桜の苗木を贈呈し、塘沽区内の濱海森林公園に植樹を行いました。

今回、一行は、桜の維持・管理について学ぶため、八戸公園を視察しました。

両地域の交流が一層活発になり、八戸港の利用拡大につながることを期待されます。



中央から右へ八戸市長、姚主任、三八五グループ泉山会長

補助金制度のお知らせ

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、八戸港の利用促進、貿易振興を図るため、次の補助金制度を実施しています。御社の物流コストの削減に是非ご活用ください。

●コンテナ輸送トライアル補助金制度

この制度は、新たに八戸港の外貿コンテナ定期航路を利用する場合、船荷証券（B/L）1件につき5万円を補助するものです。

補助金対象者は、国内に1年以上事業所を有し、平成16年4月1日以降八戸港の外貿コンテナ定期航路を利用されたことのない企業様（もしくは個人経営者様）で、3回まで利用できます。

●青果物等貿易促進補助金制度（くん蒸補助金制度）

この制度は、植物検疫の結果、くん蒸が必要となった場合、「八戸港くん蒸上屋」1室1回の利用につき5万円を補助するものです。

青果物等のくん蒸に係る企業様の負担軽減を目的とし、これまでにタマネギ、牧草、大豆、原木等の輸入に利用されています。

なお、両補助金とも予算の範囲内での補助となりますので、ご了承ください。

お問い合わせ先

八戸市産業振興部産業政策課内 八戸港国際物流拠点化推進協議会 TEL.0178-43-2111（内線308、609）

八戸港PR用DVD（外国語版）を作製

20号でご紹介した、八戸港PR用DVDの英語版、韓国語版、中国語版が完成しました。

興味のある方は是非お問い合わせください。

お問い合わせ先

八戸市産業振興部産業政策課内
八戸港国際物流拠点化推進協議会
TEL.0178-43-2111（内線308、609）



八戸港コンテナ共同輸送事業について（お知らせ）

～八戸港CSS（Container Support Service）事業～

㈱八戸港貿易センターでは、海外取引をされる荷主の皆様にとって利用しやすいコンテナ輸送サービスを提供するため、コンテナ1本に満たない小口貨物の共同輸送を実施しております。

平成12年に始まったこの事業も8年目を迎え、昨年度に引き続き北米便のほかに、不定期ではありますが、経済発展著しい中国・上海便も実施いたします。また、他の利用者をご紹介いただいた場合の割引制度もございます。

これから新規に海外製品を取り扱ってみたい、海外からの急な引き合いにスポット対応しなければならない等、国際小包では対応できない、けれどもコンテナを満たすほどではないという場合、是非とも当社の共同輸送をご利用ください。

平成19年度は以下の内容にて実施いたします。

◆◆◆平成19年度の実施計画◆◆◆

当社の共同輸送は、利用者の皆様にとって、より利用しやすい料金設定をご用意しております。今年度も、1荷主でもお申込がある場合には実施いたしますので、皆様のご利用をお待ちいたしております。

なお、期日までにお申込（荷物）が無い場合は、中止する場合がありますので、ご了承ください。

◎実施航路

- ・北米便（シアトル、バンクーバー港）
- ・中国便（上海港）

◎輸送品目

建材・家具、機械部品等 ※保冷、各種検査等を要する品目、危険物等は除く。

◎料 金

共同輸送基本料金（倉庫渡し）

体 積	北米便基本単価	中国便基本単価
1m ³ ～5m ³ 未満	30,000円/m ³	27,000円/m ³
5m ³ ～10m ³ 未満	27,500円/m ³	24,500円/m ³
10m ³ 以上	25,000円/m ³	22,000円/m ³

※ 体積の小数点以下は、切り上げいたします。 例：1.2m³→2m³

※ 料金に含まれるもの：海上運賃、海上保険料、国内通関料、入出庫保管料、ショートドレイ料

※ 料金に含まれないもの：輸入消費税、関税、その他諸費用（海外集荷場所までの配達料、通関後の国内配達料、税関検査料等）

●費用合計＝倉庫渡し料金（体積×基本料金）＋輸入消費税＋関税（発生した場合）＋その他諸費用

◆◆◆共同輸送事業に関する情報・ご案内◆◆◆

共同輸送に関するスケジュールや貿易関連の最新情報を、FAXまたはE-mailでご案内いたしておりますので、ご希望の方は下記のお問合せ先までご連絡ください。

また、貿易に関する質問や、貿易実務の支援活動等も承っておりますので、お気軽にご連絡、ご相談いただければ幸いです。

お問い合わせ先

㈱八戸港貿易センター

TEL.0178-72-1505 FAX.0178-72-1503

E-mail:mail@hptc.co.jp

「中国大連ジャパンウィーク」参加

青森県と友好経済交流協定を結んでいる中国・大連市において、5月24日から6月4日までの日程で、日本の地方都市との交流・協力拡大を目的とした「2007中国大連ジャパンウィーク」が開催されました。日本からは青森県、青森市、八戸市など、21の地方自治体が参加し、各種イベントが行われました。

大連市はこれまでの青森県との経済交流活動を評価し、初日の5月24日を「青森の日」と制定しました。これを受けて県では「青森県大連ビジネスサポートセンター」を開放して、訪れた企業関係者等に記念品や本県の産業、観光に関するPR用パンフレットなどを贈りました。

25日には「大連・日本地方サミット」が開かれ、蝦名副知事は、「青森県大連ビジネスサポートセンター」の設置や商談会の開催など経済的な交流による成果や、秋に大連

市で開催を予定している「総合型投資促進フォーラム」を紹介し、「大連と県内企業との経済交流がより一層拡大することを期待する」と述べました。

青森・八戸両市の副市長からは、それぞれの地域特性や交流の可能性等について紹介しました。また、大連市の夏市長は、港湾を中心とした物流、金融、ハイテク産業、観光を重点に日本との連携を強めたい考えを示し、日本の位置づけの重要性について述べました。

お問い合わせ先

青森県商工労働部海外産業経済交流推進チーム
TEL.017-734-9730 FAX.017-734-8119



左から、菅原八戸市副市長、佐藤青森市副市長、夏大連市長、蝦名副知事



大連市長に記念品を贈呈

「グレットタワーみなと」完成

4月25日、館鼻公園内に新たな展望タワー「グレットタワーみなと」が完成しました。「グレット」の由来は、南部弁で「全て」の意味を表し、街並みを一望する（ぐれっど見渡す）ことができます。

展望フロアの床の高さは、標高約50mと八戸大橋よりも高いことから、港内に停泊している船や中央防波堤などの沖合に位置する施設を望むことができます。

同公園は、リニューアル工事が進められており、春には

たくさんの桜を楽しむことができる他、地形を活かした展望台やお花見広場、遊具広場が整備され、新たな観光スポットとして期待されています。

また、同公園から近い館鼻岸壁では、3月～12月の毎週日曜日に朝市が開催され、新鮮な魚介類・農産物・衣類・雑貨などの200店を越える出店があり、多くの来訪者で賑わっています。



「グレットタワーみなと」外観

お問い合わせ先

八戸市都市開発部
公園緑地課
TEL.0178-43-2111内線343

〈利用案内〉

利用料金	無料
利用時間	夏季（4月～9月）9時～21時まで
	冬季（10月～3月）9時～19時まで
休館日	毎週月曜日
	（月曜が祝祭日の場合は翌日）
	年末年始（12月29日～1月3日）
	その他やむを得ない理由がある場合

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、平成19年7月現在、海外在住（天津、香港、シンガポール、マニラ、タコマ）の5名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。

また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけますので、ご希望の方は八戸市産業振興部産業政策課（TEL0178-43-2111 内線308・609）までご連絡ください。

REPORT1

天津レポート



三八五グループ中国駐在代表
魏 鴻泉 さん

友好の木を奉仕で植樹

2006年11月13日、八戸市長小林眞さんが引率した八戸市友好代表団は、中国天津市塘沽区の濱海森林公園で、八戸市と三八五グループが天津市塘沽区に寄贈する桜の苗木の友好植樹をしました。その後についてレポートします。

今年3月22日にも、桜の苗木を山東省から塘沽区まで運んできて、3月24日から始まる「塘沽区民奉仕植樹」活動の準備としました。

3月24日、普段静かな塘沽区濱海森林公園では、多彩な旗が風にはためき、車も行き来し、大勢の人が集まって大変にぎやかになりました。「塘沽区民奉仕植樹」がこれから始まるのです。本来、中国の「植樹節」（日本の「みどりの日」に似たもの）は3月12日ですが、北方ではまだまだ寒いので、各地方で各々の気候によって定めることができます。

奉仕植樹に参加する人々は何千人もいますが、区長をはじめとする政府機関の職員、各会社の会社員、在塘沽区の人民解放軍兵士のほかに、一般の区民の志願者も家庭単位で参加しています。日中友好及び八戸市と塘沽区の友好を象徴する桜の苗木は、去年と同じように「桜花園」と区分したところに植えられました。「中日の子々孫々までの友好のため、地球の環境保護のため、また濱海新区のこれからの発展のために微力でも尽くそう」、「塘沽区と八戸市の友好を象徴する桜は、必ずすくすくと育つと確信する」と参加者たちは話していました。

中国天津市塘沽区は、大昔から「長芦玉砂（ちょうろぎよくさ）」と讃えられる塩の産地として有名です。濱海森林公園は昔の塩田を改造して作られた公園ですが、土壌がアルカリ性（PH値が9以上）で塩分の量も多く、樹木の成長、特に桜の成長に厳しいと言われています。困難を恐れない塘沽区民は、区政府の指導の下、640ヘクタールという広い公園で人口湖をつくり、排水溝を掘って地下水位を下げました。また、土壌を有機肥料で改良し、灌漑システムを施すことで塩分を流し、植物が成長できるよう努力してきました。現在、100万本以上もの樹木を植えているそうです。

塘沽区民に非常に感服します。

REPORT2

タコマレポート



タコマ・ピアスカウンティ商業会議所
（米国ワシントン州）マネージャー
ゲリー・ブラケット さん

経済は、2006年第四四半期も好調で、2007年に続いています。

タコマ・ピアスカウンティ商業会議所は年間経済レポートと経済予報を発行しました。下記サイトでご覧になれます。

<http://www.tacomachamber.org/chamberprograms/BusinessTrade/pdf/PCEI%20Report%202007.pdf>

レポートでも説明されていますように、2006年は2002年に始まる一連の経済成長を維持しました。2007年も引き続き好調であると予測されており、ゆっくりではありますが持続的な成長であると期待されています。

タコマ港は、当地域の重要な経済の牽引役として、経済の維持・発展に尽くしています。2006年のコンテナ取扱量は、カリフォルニア港のインフラ整備により貨物がカリフォルニアに戻ったことや、パシフィックノースウェスト鉄道の鉄道運賃値上げのため、前年比1%未満の増加、実質横ばいでした。自動車貨物は22%増で、166,000台の自動車がタコマ港で取り扱われました。三菱自動車は、2007年初めには、ふそうの普通トラックをタコマ港に輸入し、オートウェアハウジング社でオプションを搭載する予定であると発表しました。バラ積み貨物も前年比17.5%増と急増で、多くは軍用貨物です。

港湾委員会は、2006年の1億3,200万ドルの投資計画を承認しました。鉄道、ターミナル拡張、浚渫、環境浄化などの計画です。特に重要なものは、現代商船が650万ドルを費した22エーカーのターミナルを完成し、同社のターミナルが102エーカーになったこと、ブルフロッグとチルコートの鉄道ジャンクションをスピードアップのため1,050万ドルで改修したこと、線路と道路を立体交差にするDストリートオーバーパス事業の2,250万ドルの第一期工事を完了したことです。

今後については、タコマ港とオリンピア港が鉄道ヤードと工業団地を整備すること（参照：www.sslc-maytown.com）や、ワシントン州クリス・グレゴア知事がタコマ港とシアトル港の港湾ビジョンを作成したこと（参照：www.governor.wa.gov）などから垣間見ることができるといえるでしょう。知事のプランによると、州内の主要道路や鉄道を整備し、貨物輸送の利便性を向上する予定です。主要事業としては、2,500万ドルをかけて二段積みコンテナがスタンピード峠を通れるようにすることや、920万ドルのリンカーン通りの立体交差化、州道167号線の港湾産業用地への延伸があり

ます。

タコマ港湾局が最近、ハイレボス水路沿いにある前ウェアハウザーのログヤードに隣接する、アルケマ社(仏)が所有する70エーカーの区画の土地を、取用権を行使して確保したことを見ても、土地市場がタイトになっていることがわかるでしょう。

ピアス郡の産業用地の空き率は5%未満ですが、2007年上半年中に建設用地50万平方フィートを整備し、空き率は増加する予定です。

地域経済はゆっくりではあるものの、成長を続けると予測されています。地元のディックコンウェイは、2007年の雇用増加率は2.9%と2006年の3.5%に比べ低いものの、国全体の1.2%に比べてずっと高いと予測しています。ボーイング社は2006年、1,044機の民間航空機を受注すると同時に、新たに5,900の雇用を創出しました。ボーイング社は737を729機、787ドリームライナーを157機、トリプルセブン(777)を76機、767を10機、747を72機と、すべての機種において好調でした。1990年以来最多の受注数で、ボーイング社史上でも5番目の多さです。

地域・州同様にピアス郡の雇用市場は、労働人口を増大させています。これまで国は、前年比3.1%増の8,400の新たな雇用を創出し、失業率は4.5%から5%と2005年の5.5%に比べずっと低く推移しています。

予想外のボーナスとして、ジョージ・ブッシュ大統領が提案した2008年の国立公園事業費の予算拡大があります。レーニア山国立公園は、120万ドル増の1,130万ドルの予算を受ける予定です。この予算は、2006年11月の道路、キャンプ場などの洪水被害3,600万ドルとは別のものです。洪水被害の復旧に必要な経費の半分はこれまでに保証されていましたが、更なる資金が求められています。

都市部では、タコマ市は、タコマナロー空港(TNA)の売却を交渉中です。ピアス郡は400万ドルで購入しようとしたが、失敗したようです。空港は長い間市の一般会計予算をどぶに捨てるようなものでした。現在のところ、最終的に誰が購入することになるのかわかりません。

商業地区では、ワシントン大学タコマ校が最初の1年生を迎え、4学年を受け入れることになりました(これまでタコマ校は3~4年生向)。私立のピュージェットサウンド大学では、2,500万ドルをかけて理学部ができました。他には、築115年のルソンビルを小売店とアパート用に再建します。ルソンはライトスチール構造でアメリカ高層ビルの父といわれてきた一人です。同様に、歴史に残るウィンスロップホテルは、一時は低所得者住宅となっていました。250室のビジネスホテルとしてかつての気品を取り戻すことになっています。

商業地区では、新たに1,100世帯が入居可能な住宅ユニットが完成しました。さらに、所得に対する2ベッドルームのアパートの平均価格をみたとき、タコマが最もお手頃な都市であるとされています(参照:www.Apartmentratings.com)。最近の口コミでは、住宅中間値(2007年1月で266,725ドル)は横ばい傾向にあるものの、前年同期に比べると高くなっています。販売件数は、2007年1月時点で1年前に比べ888軒とわずかに減っています。とはいえ、コンドミニアム事業は引き続き行われる予定で、リンクライトレール(路面電車)とサウンド鉄道駅とバスの乗り換え拠点であるタコマドームのところに300世帯入居できるコンドミニアム(分譲式マンション)の事業が計画されています。コンドミニアムの価格は、20万ドル~30万ドル程度と見積もられています。

REPORT 3

ワシントンレポート



世界銀行 上席都市環境専門官
慶長寿彰 さん

八戸の皆さん、こんにちは。八戸出身でワシントン在住の慶長です。最近ワシントンDCに進出してきた「Trader Joe's (トレーダー・ジョーズ)」というグルメ・スーパーがあります。ここは、世界中から集めたグルメ食品を手ごろな価格で販売しているということで、ワシントンのヤッピーの間ではかなりの人気なのです。安さの秘訣はいくつかあって、まず、商社などの仲介を通さず、生産者から直接仕入れているということ。それと、なるべく大量に買い付け、一度に輸送すること。さらには、コスト削減のため、華美なオフィスや企業ジェットなどは持たず、社長には秘書もつけていないんだそうです。そうやって、美味しいものを1ドルでも安く消費者に売ることが最優先しているのだといいます。商売人の鑑ですね。

この「トレーダー・ジョーズ」の売りは、何と言っても世界中から集めたワインとビールの種類の豊富さでしょう。先日僕は、このスーパーで沖縄の「オリオン・ビール」を見つけました。トレーダーは、日本にも買い付けに行っていたんですね。でも、数ある日本のビールの中から「オリオン・ビール」に目をつけたとは、さすがグルメと言わざるを得ません。

さて、「トレーダー・ジョーズ」のもうひとつの売りはシーフード。でも、このお店は、鮮度を保つためにシーフードは冷凍モノしか売らないという方針なのです。獲ってすぐ現地で冷凍したものが一番だということのようです。ご覧のように(↓)、鯛も鱈も鮪も切り身の冷凍真空パックで売られていました。こうして売れば、料理し易いという理由もあるのかもしれません。我がふるさと八戸の冷凍シーフード、機会があれば、是非この「トレーダー・ジョーズ」に売り込もうかと思っています。グルメ・スーパーと銘打っているなら、やっぱグルメの本場・八戸から仕入れるべきでしょう。(自分が食べたいだけです)。



冷凍真空パックされたシーフード

※慶長寿彰氏は、現在海外経済協力員を退任され、八戸大使としてご活動いただいております。今年3月にいただいたレポートを掲載しました。

八戸港の貿易概況報告 (平成19年1月～4月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
 日本貿易振興機構 (JETRO) 八戸情報デスク TEL:0178-72-1850 FAX:0178-72-1503

<概況>

輸出額では、鉄鋼製品等の不調もあったが、フェロニッケル・飼料・魚介類等の好調により倍増(219.8%)。特に、フェロニッケルは国際取引価格の高騰により飛躍的に増加(301.5%)。輸入額では、ウッドパルプ・ニッケル鉱・とうもろこし等の好調により増加(108.8%)。輸出主要国は台湾・中国・韓国、輸入主要国はアメリカ・台湾・インドネシアなどが挙げられる。また、コンテナ貨物通関本数は、中国・韓国航路を中心に前年比111.1%と増加。

■平成19年1月～4月の貿易額 (単位：千円)

※資料：八戸税関支署発表の貿易統計
 (八戸港・むつ小川原港・久慈港) から抜粋

輸出

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船舶	NO	2	6,000,000	200.0%	160.2%
フェロニッケル	MT	45,644	36,550,442	110.6%	301.5%
有機化学品	KG	550,720	183,938	82.0%	88.7%
紙製品	MT	535	48,412	69.2%	69.4%
一般機械	MT		7,895,698		124.9%
鉄鋼製品	MT	154	75,943	13.0%	29.9%
飼料	MT	2,895	182,799	243.9%	269.2%
魚介類	MT	5,639	805,685	155.9%	212.8%
鉄鋼くず	MT	6,333,277	290,159	53.3%	82.3%
電気機器			40,454		70.2%
その他	—		1,322,948		184.7%
合計	—		53,396,478		219.8%

●コンテナ貨物通関額 () 内は対前年比

輸出	296億2,419万円 (209.0%)
輸入	63億1,232万円 (37.5%)
合計	359億3,652万円 (115.9%)

●コンテナ貨物通関本数 () 内は対前年比

輸出	2,867TEU (126.7%)
輸入	4,377TEU (102.7%)
合計	7,244TEU (111.1%)

輸入

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	297,537	6,004,334	119.8%	131.5%
とうもろこし	MT	284,406	7,605,173	100.9%	159.3%
ニッケル鉱	MT	832,085	11,876,449	99.8%	189.7%
木材	CM	14,978	498,839	54.3%	66.6%
亜鉛鉱	MT	23,027	3,034,399	47.2%	66.9%
亜鉛さい	MT	7,307	1,069,201	93.0%	149.9%
大豆粕	MT	62,425	2,278,272	76.0%	80.0%
魚介類	MT	3,540	1,162,072	112.1%	95.8%
飼料	MT	10,886	365,350	93.8%	82.1%
石炭	MT	296,269	2,698,280	113.3%	122.6%
こうりゃん	MT	46,359	1,238,817	82.4%	124.3%
ウッドパルプ	MT	9,886	837,393	242.6%	333.5%
カオリン	MT	42,077	1,053,482	82.5%	84.3%
肥料	MT	7,336	214,988	111.4%	120.8%
コークス等	MT	14,545	398,411	39.3%	44.0%
鉛鉱	MT	0	0		
金属製品	MT	2,440	626,178	175.0%	118.4%
その他穀物	MT	2,381	45,217	158.7%	196.3%
糖蜜	MT	2,398	38,639	115.7%	105.2%
一般機械	MT		365,633		101.7%
その他	—		13,826,261		77.0%
合計	—		55,237,388		108.8%

平成17年の青森県貿易概況

日本貿易振興機構 (JETRO)
 青森貿易情報センター
 TEL 017-734-2575
 FAX 017-773-2877
 〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビル5階

平成17年の青森県の貿易は、輸出入総額で2,864億9,003万円となりました。輸出入別では、輸出が1,014億259万円、前年比13.1%減となりました。これは、シェアの大きい単金属製品が415億4,958万円で7.8%増、車両・船舶が148億6,414万円12.7%増とそれぞれ増加したものの、機械・電気製品が272億7,882万円42.7%減と大幅に減少したことが主な要因です。

輸出品目別では、上位は単金属製品が41% (8ポイント増)、機械・電気製品が26.9% (13.9ポイント減)、車両・船舶が14.7%、精密機器・楽器が4.7%となりました。ちなみに農水産物のシェアは、前年の4.9%から9.9%と大幅に増加しました。また主な輸出先は、上位から台湾、韓国、パナマの順でした。

一方、輸入は1,850億8,744万円、前年比10.9%減となりました。これは、主要品目の農水産物が438億1,741万円2.6%減、機械・電気製品が34億5,324万円92.5%減と大きく減少したためです。

輸入品目別では、鉱物性生産品が34.8% (8.9ポイント増)、

農水産物が23.7% (2ポイント増)、鉱物性燃料・鉱物油が16.1% (3.3ポイント増) となったほか、以下木材・紙及びその製品 (9.9%)、化学工業生産品 (6.5%) の順となりました。ちなみに、以上の5品目で輸入全体の約9割を占めています。また上位の輸入先は、米国、オーストラリア、中国の順でした。

青森県の貿易額

(単位：百万円)

	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
輸出	83,779	100,093	106,657	116,700	101,403
(対前年比)	156.5%	119.5%	106.6%	109.4%	86.9%
輸入	150,162	171,180	164,321	207,750	185,087
(対前年比)	96.7%	114.0%	96.0%	126.4%	89.1%
合計	233,941	271,273	270,978	324,449	286,490
(対前年比)	112.0%	116.0%	99.9%	119.7%	88.3%

八戸港の物流を支える人々

八戸港は、昭和26年に重要港湾の指定、昭和39年に「新産業都市」に指定されたのを契機として、商港・工業港としても飛躍的な発展を遂げています。今号から、八戸港の物流を支える各組織とその役割をご紹介します。



函館税関八戸税関支署外観

第一回目は、貿易をする上で欠くことのできない機関である函館税関八戸税関支署をご紹介します。

税関は、日本全国を函館・東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・門司・長崎・沖縄の9つの区域に分けて管轄しています。この区域は幕末に外国に対して開港した港を中心としており、当時は「運上所」と呼ばれていました。

八戸には、北東北と北海道を管轄する函館税関の支署として、八戸税関支署が置かれています。支署の設置は、八戸港が外国貿易の港として開港された昭和14年です。八戸税関支署が管轄している区域は、八戸市はもちろんのこと、青森県南地区と岩手県北地区を含んでいます。行政組織が、異なる県を管轄することは珍しいように感じますが、岩手県北は八戸と同じ南部藩であったことや、交通手段も八戸に便がいいことなどにより、貿易貨物を扱う税関の管轄が八戸になったといえます。

税関の業務は大きく4つに分けられます。「監視行政」、「通関行政」、「税務行政」、「保税行政」の4つです。

「監視行政」は、違法な輸出入貨物の取締りの他、国民の安全と健康を脅かす麻薬や覚せい剤、けん銃などを港や空港のいわゆる水際で阻止する為、貨物のX線検査や実際に船に出向き船内検査などを実施します。また、監視艇による海上パトロールや、麻薬探知犬による検査なども行われます。八戸港でも平成15年に覚せい剤の密輸入事件が初めて摘発されるなど、海上保安庁などと連携し、監視が強められています。



監視取締の様子

「通関行政」は、貨物の輸出入手続の審査及び必要に応じての検査を実施し、許可を行います。内容が正しく申告されているか、輸入貨物にあっては定められた関税・消費税が納められているか確認する他、申告どおりの貨物であるか確認する為、外観だけの検査だけでなく、必要に応じて最新の機材を用いて科学的分析検査も行います。

また、通関手続を適正かつ迅速に行う為、コンピューターに

よる通関情報処理システム（NACCS：ナックス）を稼働させ、ホストコンピューターと税関、及び通関業者などの事業所に置いた端末機を通信回線で結び、オンラインで処理しています。現在、NACCSを使った通関手続きは全体の約98%を占め、物流の円滑化に大きな効果をあげています。

「税務行政」は、輸入品にかかる関税や消費税などの内国消費税や、外国貿易に従事する船舶のとん税や特別とん税の徴収を行っています。また、申告納税が正しく行なわれているか確認する為、輸入者等に対する立ち入り調査を行っています。



通関検査の様子

「保税行政」は、外国から到着した貨物について、関税や消費税などの税金の徴収を一時保留し、その貨物の出入りを管理します。外国からの貨物はいったん保税地域に保管され、税関の審査を受けた上で、原則として関税・消費税などの税金を納めた後、輸入する事が出来ます。

保税地域の種類により、外国貨物を保税状態で一定期間置く事ができる他、外国貨物を原料として製造した製品についても保税状態で再び外国に向け積み戻す事ができ、また、国際展示場などでは保税状態のまま外国貨物を展示する事ができます。

以上の業務の他、海外旅行や外国郵便、個人輸入や海外との商取引などの税関手続きについての相談を受付ける窓口として「税関相談官」を設けており、また貿易統計資料の作成や公表などを行っています。

現在、世界的に貿易自由化による経済活性化が進められ、日本も自由貿易協定（FTA）の協議が各国との間で進められています。今後、貿易環境の変化に対応しつつ、適正な税関行政に取組み、利用者の利便性向上と密輸防止に努めていきます。

お問い合わせ先

函館税関八戸税関支署 TEL.0178-33-0423

	コンテナ航路	船社名	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、高雄)、中国(香港)、韓国(釜山、光陽)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、豪州、欧州、南米、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山、光陽、蔚山)、中国(上海、青島、大連) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/月	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	株横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地
		井本商運(株)	八戸港湾運送	1便/週	[寄港地] 東京 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	4	4
光陽(韓国)	5	10
蔚山(韓国)	5	8
基隆(台湾)	7	6
高雄(台湾)	8	7
香港(中国)	9	9
大連(中国)	6	8
青島(中国)	7	7
上海(中国)	7	7
天津(中国)	9	8
寧波(中国)	9	9
蛇口(中国)	10	11
シンガポール	14	14
ジャカルタ(インドネシア)	16	17
バンコク(タイ)	18	18
レムチャパン(タイ)	18	18
マニラ(フィリピン)	18	20
ホーチミン(ベトナム)	18	16
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	24
オークランド(ニュージーランド)	31	33
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	36

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

八戸通運株式会社(海運営業所)	TEL: 0178-29-0202	FAX: 0178-20-3281
八戸港湾運送株式会社	TEL: 0178-29-3177	FAX: 0178-29-3119
新丸港運株式会社	TEL: 0178-20-2321	FAX: 0178-20-2353
八戸運輸倉庫株式会社	TEL: 0178-28-2401	FAX: 0178-28-6976
三八五流通株式会社	TEL: 0178-52-7755	FAX: 0178-52-7751
日本通運株式会社八戸支店	TEL: 0178-27-3311	FAX: 0178-27-5520
ナラサキスタックス株式会社八戸支店	TEL: 0178-20-1651	FAX: 0178-20-2444
青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会 株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫		



貿易Q&A

株八戸港貿易センターは、世界に開かれたみなと八戸港と私達に深く係わる貿易をもっとよく知っていただくために様々な活動を行っております。ここでは貿易に関する基本的なQ&Aをご紹介します。

よく使われる貿易の取引条件

貿易では、国際商品売買取引慣習として「インコタームズ2000」という取引条件が用いられます。インコタームズには13種類ありますが、よく使われるものは主に次の2種類になります。

まずはFOB。Free On Boardの略で「本船渡」と言われます。この条件では、輸出者が貨物を船に積み込むまでを負担しますので、輸入者が船便の運賃以降の費用等を負担します。

もう一つはCIF。Cost, Insurance and Freightの略で「運賃保険料込」。この場合は、輸入地に貨物を乗せた船が入港する時点まで輸出者が負担しますので、船便の運賃はもちろん、保険の付保も輸出者が行います。

この他に、生産工場の出荷時点で輸入者に引き渡されるEXW(工場渡)や、船の運賃は輸出者が負担するけれども保険は付保しないCFR(運賃込)などもあります。この条件は必ずアルファベット3文字で契約書に記載されますので、内容を把握しておくことをお勧めします。

編集後記

八戸の新しい観光スポットとして、展望塔「グレットタワーみなと」がオープンし、連日多くの人でにぎわっているようです。展望台からは市街地から工業地帯、国の天然記念物に指定されている「蕪島」まで見渡せます。蕪島は、八戸市の島にもなっているウミネコの繁殖地として有名で、春には、飛来したウミネコが島を埋め尽くすように営巣しています。ウミネコの産卵は4月下旬で、5月から6月にかけて雛が次々に孵化し、その鳴き声で島の中はますます賑やかになります。この時期、遊歩道のすぐそばで卵を抱えている親鳥や、孵化したばかりの雛のかわいい姿を見ることが出来ます。中には巣から歩き出てしまい迷子になってしまう雛もいて、見ているとハラハラします。他の親鳥に突つかれたり、狐や野犬に襲われることもあるのですが、無事に育てて来年もまた蕪島に戻ってきて欲しいものです。



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市産業振興部産業政策課内
TEL:0178-43-2111(内線308・609) FAX:0178-47-5687 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp Homepage: www.hi-net.ne.jp/hppc

(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp Homepage: www.hptc.co.jp

